



人の目の垣根隊
HITONOMENO KAKINETAI



寒い日も暑い日も
いつも見守ってくれて
ありがとうございます

地域の子どもは地域が守る 人の目の垣根隊

問 (市)青少年センター

人の目の垣根隊は、子どもを犯罪、事故などから守り、より安心安全で快適な地域をつくるため、2005年に誕生し、今年で活動15年目。

緑色のジャンパーやオレンジ色の帽子などのユニフォームを着用し、多くの地域ボランティア会員が小学生の登下校を中心に見守り活動を行っています。



人の目の垣根隊の方にお話を伺いました

1日に70~80人の子どもを見守ります

立ち当番だけでなく、集合場所から学校まで一緒に歩くことで、子どもたちと信頼関係を築いています。立派な人間になってもらいたいと思い、交通指導だけでなく、朝の挨拶や譲ってくれた車に対するお辞儀などの礼儀も指導しています。子どもにとっては少し怖い存在に見えるかもしれませんが、子どもが好きなので体力が続く限り活動を続けたいです。



道先 仁 さん



石田 保彦 さん

安全・安心な学校生活を

「登下校が心配」という声を聞き、15年間見守り活動を続けています。通学路には歩道がない場所や、交通量が多い危険箇所があり、垣根隊のフォローが子どもたちの安全な登校に繋がっていると思います。登校時の出来事は学校に伝え、地域で連携して子どもを守っています。来年度から小学校が統合し、バス通学になりますが、安全に登校できるよう、学校と力を合わせていきたいです。

三木市からのお知らせをSNSやスマートフォンアプリで配信しています。以下の2次元コードを読み取りアクセスしてください。



イベント、季節の見どころなど三木市の旬な情報や防災情報を発信します。



各部ごとの市政情報のほか、防災情報、図書館情報などを発信します。



アプリをダウンロードし、お住まいの地域を「兵庫県三木市」に設定するとスマートフォンに広報みきが届きます。

